

# 地域の論理

## 「スーダン」における人々の営みを巡って

企画責任者 飛内悠子(上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科地域研究専攻博士後期課程)

### 背景

「スーダン」を巡る歴史  
奴隷交易、植民地化、内戦、  
和平協定締結、住民投票...



<http://www.worldatlas.com>

2011年7月9日  
南スーダン共和国独立

この激動の歴史を生き残った人々は、二つのスーダンが誕生した現在、自身の生きる「地域」をいかに捉えているのか？

### 目的

南北それぞれの地域に一定期間滞在経験を持つ若手研究者が上記の疑問に自らの専門地域、分野から答えること。

そこから、人々が「地域」を見出す論理について考えてみたい。

### 発表者

モハメド・オメル・  
アブディン

東京外国語大学大学院  
地域文化研究科博士後  
期課程  
北部スーダン、政治学

民主化、和平

丸山大介

京都大学大学院  
アフリカ・アジア地域研  
究研究科博士後期課程  
北部スーダン、人類学

スーフイズム

コメンテーター

内藤直樹

徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部准教授、  
東アフリカ、人類学

仲尾周一郎

京都大学大学院  
文学研究科博士後期  
課程  
南部スーダン、言語学

ジュバの歴史と言語

飛内悠子

企画責任者  
南北スーダン、  
人類学

移住者

橋本栄莉

一橋大学大学院  
社会学研究科博士後  
期課程  
南部スーダン、人類学

ヌエル人、予言者

2012年12月8日開催、於 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所